

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	神戸海星女子学院大学
設置者名	学校法人 海星女子学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
現代人間学部	英語観光学科	夜・通信	51	27	152	230	13	
	心理こども学科	夜・通信			164	242	13	
(備考) 「学部等共通科目」については、本学現代人間学部の「教職に関する科目」を計上している。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>本学ホームページに掲載している。 https://www.kaisei.ac.jp/education/syllabus</p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	神戸海星女子学院大学
設置者名	学校法人 海星女子学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

インターネットにおいて公開
<https://www.kaisei.ac.jp/college/disclosure/regulations>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	前(学)関西学院 常務理事・事務局長	2018.11.1～ 2024.3.31	理事長
非常勤	前 鳴門教育大学理事 鳴門教育大学名誉教授	2020.4.1～ 2024.3.31	豊富な学識経験に 基づいた政策提案
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	神戸海星女子学院大学
設置者名	学校法人 海星女子学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。			
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)			
【予定】			
7月下旬	カリキュラム担当者決定 (出講不能の場合は要調整)		
10月下旬	各担当者に向けて授業計画 (シラバス) の作成を依頼する ※授業計画 (シラバス) 作成期間は約1ヶ月程度を要す		
11月下旬	各教員から授業計画 (シラバス) 提出 (WEB 入稿)		
12月中旬	印刷会社へ授業計画 (シラバス) データを提供 ※製本もしくはデータでのシラバス作成を進める		
1月中旬	校正作業		
3月初旬	納品		
4月1日	授業計画 (シラバス) 公開 ※ 冊子・HP で展開		
授業計画書の公表方法	学生へは冊子及びWEB、一般へはホームページ上で展開・公表している https://www.kaisei.ac.jp/wp-content/uploads/2021/syllabus2021.pdf		
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。			
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)			
上記で示す授業計画 (シラバス) に掲載されている「課題・評価方法」に則し、各授業において、厳格かつ適正に単位を授与し、履修を認定している。 なお、各授業科目の成績評価種別は以下の通りである。			
評価	評価点	評価指標	合 否
S	90点～100点	授業の到達目標を十分に達成し、極めて優秀 (上位0～10%)	合 格
A	80点～ 89点	授業の到達目標を十分に達成している	
B	70点～ 79点	授業の到達目標を達成している	
C	60点～ 69点	授業の到達目標を最低限達成している	
認定	単位認定	単位認定	不 合格
F	0点～ 59点	授業の到達目標を達成していない	
/	評価不能	履修放棄・欠席数超過 等	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>授業科目ごとの成績評価を5段階 (S、A、B、C、F) で評価し、それぞれに対してグレードポイント (4, 3, 2, 1, 0) を付し、この単位当たりの平均を算出する。 G. P. A = (S評価の単位数 × 4 + A評価の単位数 × 3 + B評価の単位数 × 2 + C評価の単位数 × 1) ÷ (総履修登録単位数 - 算入されない科目の単位数) ※小数点第3位を四捨五入する。 ※原則、認定による修得単位については、計算から除外する。</p> <p>例えば全科目が「S」の場合、G. P. Aは4.0となる。全履修登録科目が対象となるため、時数不足で評価不能となった科目もG. P. A. の計算対象となる。履修取消最終日までに手続きを行わずに放棄した科目は、0ポイントとして取り扱う。</p> <p>「G. P. Aの分布」については、【添付書類】「客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料」の通り</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本学ホームページ上で公表している。(PDF : P. 59) https://www.kaisei.ac.jp/wp-content/uploads/2021/handbook2021.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学学則 第8章 卒業及び学位の授与 において以下のように定める。</p> <p>(卒業) 第25条 本学において4年以上在学し、所定の授業科目を履修して単位を修得した者について、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。 2 学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与する。 3 卒業の時期は、学年の終りとする。ただし、4年以上在学した者については、学期の終りに卒業させることができる。 (学位の授与) 第26条 卒業する者には、学士(文学)の学位を授与する。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>本学ホームページ上で公表している。(PDF:P44) https://www.kaisei.ac.jp/wp-content/uploads/2021/handbook2021.pdf</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	神戸海星女子学院大学
設置者名	学校法人 海星女子学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kaisei.ac.jp/college/disclosure/finance
収支計算書又は損益計算書	https://www.kaisei.ac.jp/college/disclosure/finance
財産目録	https://www.kaisei.ac.jp/college/disclosure/finance
事業報告書	https://www.kaisei.ac.jp/college/disclosure/finance
監事による監査報告(書)	https://www.kaisei.ac.jp/college/disclosure/finance

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.kaisei.ac.jp/college/disclosure/evaluation

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.kaisei.ac.jp/college/assessment

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的(公表方法: https://www.kaisei.ac.jp/college/profile/policy) (概要) 真理を探究して専門分野の学問を学びながら、知性と感性を身に付け、世界的視野に立って考え、良識をもって判断し行動できる女性、また、自らが神から愛された存在であることを知り、人を愛し、人を支え、社会に奉仕することのできる女性の育成を目指す。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: https://www.kaisei.ac.jp/college/profile/policy) (概要) <ul style="list-style-type: none">・建学の精神に基づき、愛について学び、社会に奉仕する必要性を理解している。・人と共感する感性をもち、異文化を理解し、平和のために協働する姿勢を有する。・社会人としての基本的な知識と技能を修得して自律し、正しい倫理観をもって判断する力を有する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: https://www.kaisei.ac.jp/college/profile/policy) (概要) <ul style="list-style-type: none">・本学の建学の精神にあるキリスト教に基づいた倫理観を涵養する。・現代社会で自律した人間として生きるための基礎的な汎用能力を育成する。・思考力を深め、他者の意見に耳を傾け、自ら判断して主体的に行動する力を養う。・専門分野において基礎的な学びを出発とし、段階を追って知識の重層的な修得と実践力の向上を目指す。・学生一人ひとりの社会における自己実現を支援するため、キャリア教育を重視する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法: https://www.kaisei.ac.jp/college/profile/policy) (概要) <ul style="list-style-type: none">・キリスト教的価値観に基づいた本学の建学の精神を尊重し、理解を示す。・人と関わり、協力することを大切にする。・高等学校で習得すべき基礎学力を有し、論理的に思考し判断する力をもっている。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： https://www.kaisei.ac.jp/college/profile/outline https://www.kaisei.ac.jp/education

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
現代人間学部	—	9人	3人	5人	1人	人	18人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		59人					59人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.kaisei.ac.jp/education/et/professor https://www.kaisei.ac.jp/education/pc/professor					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
教員同士に対する授業公開、学生による授業評価・授業改善のためのアンケート実施、授業結果・授業改善報告書の提出、FD研修会実施 等							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
現代人間学部	95人	80人	84.2%	380人	374人	98.4%	若干人	1人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	95人	80人	84.2%	380人	374人	98.4%	若干人	1人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
	82人 (100%)	0人 (0%)	72人 (87.8%)	10人 (12.2%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	82人 (100%)	0人 (0%)	72人 (87.8%)	10人 (12.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) (株)上組 ネットヨタ神戸(株) (株)ファイブフォックス 姫路信用金庫 東急リゾーツ&ステイ(株) 神戸市立小学校 幼稚園 保育所 こども園				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
現代人間学部	98人 (100%)	77人 (79%)	3人 (3%)	18人 (18%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	98人 (100%)	77人 (79%)	3人 (3%)	18人 (18%)	人 (%)

(備考) 留年者数は本来5名であるが、修業年限(4年)からの留年としては3名となる。

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) ホームページ上で掲載しているシラバスを参照のこと https://www.kaisei.ac.jp/wp-content/uploads/2021/syllabus2021.pdf

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 授業計画(シラバス)に掲載されている「課題・評価方法」に則して、各授業において、厳正かつ適正に単位を授与し、履修を認定している。卒業については、本学において4年以上在学し、所定の授業科目を履修して単位を修得した者について、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
現代人間学部	英語観光学科	124単位	有	半期 23単位
	心理こども学科	124単位	有	半期 23単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法: ホームページ上で掲載 キャンパスマップ https://www.kaisei.ac.jp/college/campus/map 大学案内パンフレット資料請求 https://www.kaisei.ac.jp/exams/shiryou
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
現代人間 学部	英語観光 学科	840,000 円	300,000 円	200,000 円	
	心理こど も学科	840,000 円	300,000 円	200,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 全学年について担任制を取っており、担任教員が学生の状況を把握しながら、学修支援担当教員、学生スタッフ、学生課、教務課と連携して学修支援を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 学年ごとに、担任教員が毎年面談を実施し、キャリアセンターと情報を共有する。 1・2年次において、キャリア教育を必修授業の中で実施している。 キャリアセンターも3年次生から面談を実施している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 保健センター、保健委員会が中心となり、学生相談室（カウンセラーを配置）、担任教員、学生課が連携を取りながら学生支援を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : https://www.kaisei.ac.jp/college/disclosure/education
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「—」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F128310108721
学校名	神戸海星女子学院大学
設置者名	学校法人海星女子学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		53人	51人	55人
内 訳	第Ⅰ区分	36人	37人	
	第Ⅱ区分	11人	11人	
	第Ⅲ区分	—	—	
家計急変による支援対象者（年間）				—
合計（年間）				56人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	—		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	—		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	—	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	—		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	—		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。